

度事業計画について協議するとともに、それぞれの園が抱える課題について情報交換を行いました。

環境防災課

3月26日、広野町消防団本団と事務局により町内すべての消防屯所を現地確認し、消防車両やポンプの整備状況、消防器具の配置状況など、消防機械器具の点検をしました。

4月1日付けで広野町交通安全教育専門員を委嘱し、4月6日の児童・生徒の登校時から3名体制で国道6号役場前交差点並びに折木大平交差点、老人福祉センター前横断歩道において、交通事故防止活動を実施しました。

4月6日から4月21日にかけて、新入学児童・入園児交通事故防止運動の取り組みとして、国道6号を通行するドライバーと通学時の児童生徒に対して、広報活動及び立哨活動などの交通事故防止啓発活動を実施しました。

4月9日、広野町総合グラウンドにおいて、令和5年広野町消防団・婦人消防隊春季検閲式を議長、副議長をはじめ議員の皆様ご臨席のもと挙行しました。消防団の厳格な規律や団結力を高め、町民の生命、財産を守ることを念頭に広野町消防

団、広野町婦人消防隊、株式会社JERRA(ジェラ) 広野火力発電所自衛消防隊、総勢64名の参加のもと行いました。



広野町消防団・婦人消防隊春季検閲式

4月26日、広野町安心・安全ネットワーク会議を開催し、交通事故防止対策、ごみ出しルールの遵守について会員企業に協力を求めました。5月18日には、国道6号役場前交差点及び亀ヶ崎地区国道35号線において、交通事故防止のための交通立哨を実施し、安全運転を呼びかけました。

5月11日から5月20日までの「春の全国交通安全運動」期間中、国道6号役場前交差点及び駅前交差点などにおいて、双葉警察署及び広野町交通安全教育専門員・富岡地区交通安全協会広野分隊・富岡地区防犯指導隊広野分隊のご協力をいただきながら、朝の通勤・通学時間帯に特別職及び管理職による立哨活

動、初日と5月19日には職員総出で横断幕やプラカードを掲げて交通立哨を実施し、安全運転を呼びかけました。

5月18日、令和5年度第1回広野町消防団分団長・隊長会議を開催し、令和5年度年次活動計画等について協議するとともに、消防団の活動方針を確認しました。

5月26日、5月27日の2日間、令和5年度狂犬病予防集合注射を福島県動物愛護センター相双支所の協力を得て、各地区集会所など町内22会場で実施しました。

産業振興課

4月1日、町内での犯罪抑止及び児童・生徒の登下校時における交通事故防止のため、広野町警戒パトロール隊出動式を実施いたしました。子供たちや高齢者の安心・安全を確保し、地域住民により身近なパトロールを実施するため、町が任命した町民の隊員による町内全域のパトロール業務を午前7時から午前8時、午後3時から午後8時の時間帯で実施しています。

4月6日、二ツ沼直売所組合が3月末をもって解散したことにより、会計年度任用職員を雇用し町直営により二ツ沼直売所の運営を開始しました。毎週木

曜日から日曜日の週4日間、9時から12時30分までの時間帯で営業しています。

5月25日、町は、「岩手県葛巻町と広野町における特産品振興・観光交流に関する協定」を議長ご臨席のもと締結しました。この協定は、両町において培ってきた特産品振興及び販路拡大、観光資源の活用から交流人口増加につなげ、地域経済の発展と住民相互の友好交流を促進することを目的としており、具体的な取り組みとして、広野産みかんを活用したワインの製造など新たな特産品の開発、住民相互の交流としてパークゴルフによるスポーツ交流、両町で行われるイベントへ参加するなど、今後、両町の連携・協力を深めていきます。

5月26日、農業における高齢化、後継者不足、耕作放棄地等の増加などの「人と農地の問題」を踏まえ、将来の地域農業を守るため、町内5地区で策定し実質化が図られた「人・農地プラン」が令和5年4月より法定化が施行され、令和7年3月までに地域の担い手への農地の集約化を図る目標地図を含めた地域計画として策定しなければならぬことに伴い、地域計画策定に向け、福島県相双農林事務所

双葉普及所を始め関係団体より推薦等をいただいた14名の方々

学校教育課

4月6日、広野小学校・広野中学校において入学式が行われ、小学校17名の児童、中学校31名の生徒が新一年生として入学しました。小学校の全児童数は146名、中学校の全生徒数は117名となっております。

同日、JFAアカデミー福島の入学式がJヴィレッジにおいて行われ、第18期生となる男子18名が入校しました。



JFAアカデミー生による田植え体験

4月10日、福島県立ふたば未来学園中学校、高等学校の入学式が行われ、中学校60名、高等学校160名の生徒が新一年生として入学しました。中学校の全生徒数は180名、高等学校の全生徒数は412名となっております。

5月2日、小・中学校において、地震及び原子力災害を想定した「避難訓練」を実施しまし

に、広野町地域計画検討チーム委員として委嘱状を交付しました。第1回の会議においては、今後のスケジュールや検討チームの活動方針、取り組みについて活発な意見交換が行われました。



広野町地域計画検討チーム会議

本年度における町内の水稲作付面積については、主食用米が128ヘクタール、備蓄米が3ヘクタール、飼料用米が55ヘクタール、合計約186ヘクタールになると見込んでおり、今後、作付された水田の現地確認をして集計作業を行っていきます。

建設課

町道北釜・大谷地原線道路改良舗装工事につきましては、5月18日の令和5年第1回広野町議会臨時会において、ご承認をいただき、県道広野小高線との接続部から139m区間の工事

での役割も担っており、来年2月まで実施します。

4月11日、広野小学校で「ひろの元気教室」の開校式を行いました。小学4年生から6年生までの児童17名が、放課後の空き教室などを使用して、社会性や自主性、創造性を育むことを目的に、来年2月まで、文化・芸術・スポーツ・学習等の体験活動を行います。

5月28日、町内外から約60名の参加により、五社山登山を実施しました。平成22年5月以来、13年振りとなる五社山登山口からの山道の登山道を登りました。ゲストに俳優・タレントの「なすび」様、「宮城大学教授の小沢晴司」様をお迎えし、参加者一同、五社山山頂からの眺望を満喫しました。また、山頂にて、お一人に対し、「広野夢大使」の委嘱状交付式を執り行いました。



五社山登山

令和5年第2回広野町議会定例会議案

議案第32号	広野町原子力災害による被災者に対する令和5年度における国民健康保険税等の減免に関する条例の制定について
議案第33号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
議案第34号	広野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第35号	令和5年度広野町一般会計補正予算(第2号)
議案第36号	令和5年度広野町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
議案第37号	令和5年度広野町土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
議案第38号	令和5年度広野町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
議案第39号	令和5年度広野町介護保険特別会計補正予算(第1号)
議案第40号	広野町教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて

請負契約を締結し、現在工事着手の準備を進め併せて工事施工中における通行止め交通規制について双葉警察署との協議を進めています。工事箇所が埋蔵文化財の包蔵地であることから発掘調査を実施しており、現在住居跡が2箇所検出され遺構記録の取りまとめを進めており調査が完了し、工事に着手します。

6月3日、折木字下原地区採石場埋め戻し計画に係る住民説明会を第4行政区の皆様16世帯参加のもと公民館大会議室で開催し、福島県土木部長より折木字下原地区採石場に係る建設発生土民間受入地の登録について地域の合意形成が十分でなく登

録要件に該当しない旨回答があったこと及び今後において、事業者は採石法及び森林法の法的根拠に基づき民間工事から発生する建設発生土を搬入することを説明しました。当日出席出来なかつた35世帯に対し、6月7日、説明会資料を配布しました。

6月4日、浅見川、折木川、北迫川流域全体の良好な河川環境の保全と再生を積極的に推進するとともに、河川愛護意識の醸成を図ることを目的に、広野町クリーンアップ作戦を実施しました。当日は、約600名の町民、各種団体、企業の方々が参加し、町内の美化活動に汗を流しました。

生涯学習課

町は、JFAアカデミー福島の活動を応援し、生徒たちが広野を第二の故郷と感じてもらえるよう地域ぐるみで生徒たちを支援していきます。

4月4日から、町内在住・在勤の方を対象に「毎日の体操教室」など、6つの公民館講座を開講いたしました。この事業は生涯学習の推進を図りながら、参加者同士で交流を深めるなど、地域コミュニティの場とし